

宇津木台 森遊会 実施報告

「第1回定例活動」

No.2024-01

実施日	2024年4月28(日) 10:00~11:40	天候：薄曇り	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：11名 大沼(4人)、矢ヶ崎(3人)、中川、山城、中野、金森		

実施内容

活動14年目の第一回目。この時期にしては記録的な高温で汗ばむ陽気。キンランの群生が迎えてくれた。蚊はいないが切った筍から出る匂いと猪の糞に誘われて大量のハエが集まってきた。

筍の時期としては遅く、あと1週間早ければベストだった。ベストな頃に何者かが殆ど全てを駆除し、穴も埋めずに大量に廃棄、よいものだけを引きずって持ち去った。さらにその後、猪が食べあさったようで大量の糞があちこちに見られた。人間も猪も年々行動が大胆になり環境への負荷が増えている。

まず竹林の外周(お墓側、畑側、住宅側、遊歩道側)の筍を全て切り払う。竹になると通行の妨げや強風での倒壊、日陰による農作物の不作などさまざまな問題を引き起こすので筍の段階で伐っておく。

残された筍を駆除しながら何者かが捨てていった残骸を集めて整理する。子供たちは一生懸命で良い経験になったと思う。残念ながら親竹は殆ど残らなかったのでもこのままでは竹林が終わりを迎える。

今回は筍の残党を切り払い竹林内を綺麗にする。その際、今後の方向性も考えたい。例えば、秋に全ての竹を伐り、来年春に全ての筍を駆除すれば竹林は終わらせることができ、大きな広場となる。

今回嬉しいことに、森遊会創設時のメンバーが10年ぶりに家族を連れて戻ってきた。筍が採れるので戻ってきた面もあり、竹林を終わらせるのは難しい選択となる。

戻ってきたことに関連して、2014年頃から実施した地元石川中学校の総合学習授業(毎年約200名)について、初回の中学生はおそらく新社会人、あと10年後に1人でも興味をもって戻ってきてくれるといいのだが。活動が継続していることを地元はどうやってお知らせするのが課題となる。



キンランの群生がお出迎え



竹林に到着



猪の糞があちらこちらに



何者かが大量に廃棄



残ったものを見つけて駆除



参加した子供たちにとってはよい経験になった



何者かが引きずった跡



見えないが大量のハエ



新緑の中を引き上げる



また来月

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋大1個を指定の場所に置く。